

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

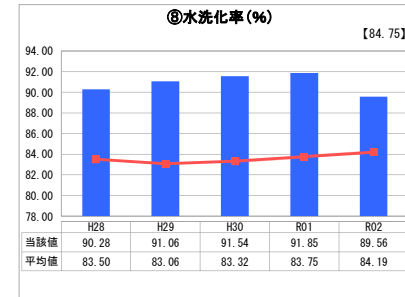
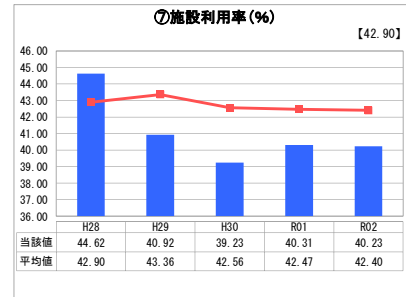
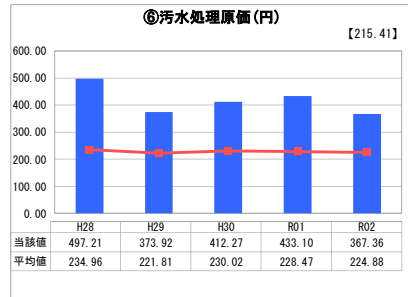
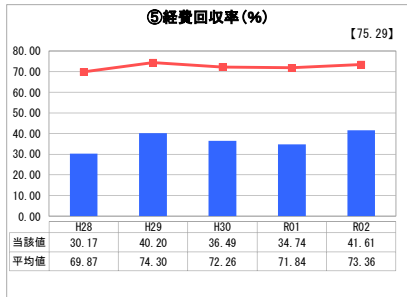
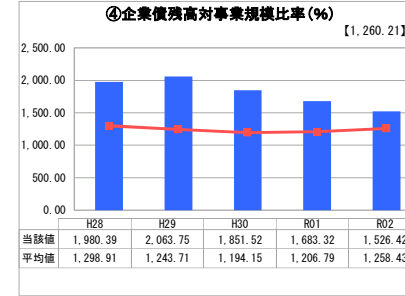
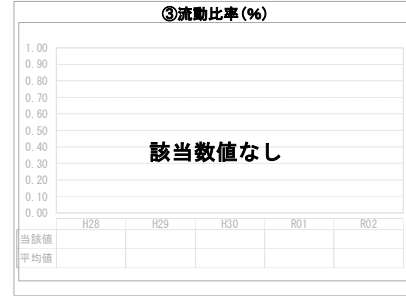
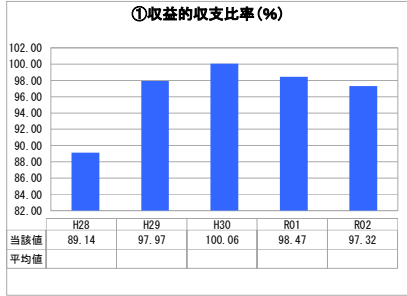
北海道 陸別町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	76.08	86.53	2,852

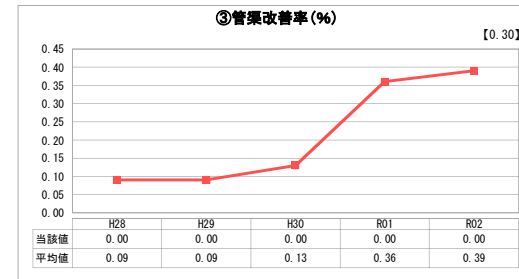
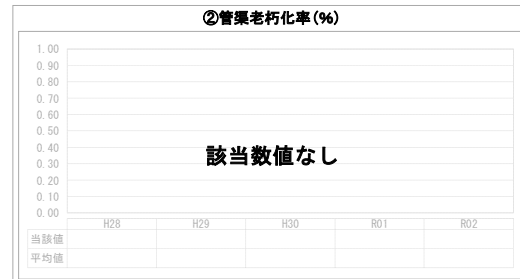
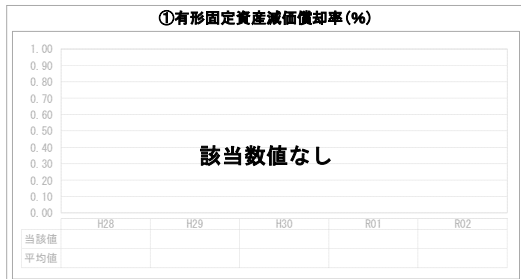
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,314	608.90	3.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,743	1.10	1,584.55

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については高い率ですが昨年度を若干下回り、経費回収率が他団体と比べて大幅に低いことから、一般会計からの繰入金に強く依存している状況にあります。

企業債残高対事業規模費率については、起債償還金の減少により今後も減少していく見込みです。

汚水処理原価については起債償還金の減少により昨年度より減少したものの、今後も人口減少による有収水量の減少が進み、汚水処理原価の増加が見込まれます。

施設利用率については類似団体の平均を下回っていますが、最大稼働率が現状では52.6%となっているため適切な規模となっています。

水栓化率については面整備が概成し、現在9割普及している状況で、今後も水栓化率の更なる向上に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始（平成10年）から22年が経過しましたが、老朽管はまだ存在しません。現在はストックマネジメント計画に基づき処理場の老朽化した電気機械設備の更新を実施しています。

## 全体総括

汚水処理原価が他団体と比べても非常に高く、経費回収率も大幅に低いことから現行使用料の水準見直しが必要であると思われます。今後は公営企業会計の適用など経営状況の明確化を行い、安定的な事業の継続に取り組みます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。